



全校進路だより

ステップアップ

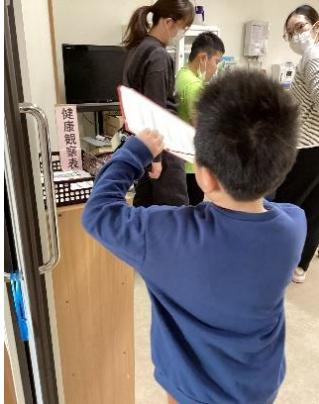
京都府立八幡支援学校
進路指導部
令和7年12月9日発行

小学部児童の進路学習ってなに？

今回は、小学部の学習の様子を御紹介します。児童は、教員や友達とともにさまざまな活動に取り組んでいます。小学部での一つ一つの経験が、地域や社会とつながる力(進路につながる力)となるよう、学習を積み重ねています。「楽しい」「わかった」という経験が、達成感や自信となり、「自分でやってみたい」と挑戦しようとする姿へとつながっています。



初めは教員とともに、次は友達とともに挑戦し、人と関わる中で、物事にどのように取り組むかを考える姿が見られます。その後、「これをどうやってするの」「自分でできたよ」と周囲に伝える姿へと変わっていきます。



給食の配膳係では、「一つずつ」という数の基礎を学び、「Aさんは牛乳を、Bさんは箸を配りましょう」とクラスの友達と役割を分担し、協力する力を育みます。健康観察カード運びの当番では、自分でやり遂げる力を養います。また、「持ってきました」とアイコンタクトや言葉でコミュニケーション力を伸ばすこともできる活動です。学校生活の中で、さまざまな授業を通して基礎的な学習を重ねながら、小学部の児童は成長しています。こうした一つ一つの経験が、未来の進路につながる確かな一歩となっています。